

刊夕日九十月九

常警每日新聞

定価一冊五銭 一月五拾五銭 郵費別
 廣告料五號十二字 一行五拾五銭
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常警毎日新聞社
 印刷所 常警毎日新聞社

頭取の計算 [下]

長谷川 誠

銀行は、一日に八時間の勤務だからね。ま、いさ三分の一で。そこで君、三分の一となると、百二十二日の勘定になるね。ところがその百二十二日の内には日曜が入つてゐるから、五十日の日曜は、そこから引かなくちやならない。さうすると、七十二日残るね。君はしかし、他の行員と同じく、土曜日の午後は休むだらう？ で、これを勘定して見ると、一年で二百六日分になるね。だからかう計算をやつて見ると、君が正味働く日といふものは、一年にたつた四十六日しかない。然るに銀行では、その四十六日の中にも、ちやんと晝飯の時間を、一時間宛やつてある！ これを計算した丈けでも、十二日になる。だから働く日四十六日の内から、十二日を引いて見給へ。君、幾ら残ると思ふい？ 三十四日さやないか！ しかも銀行では、一年の内に、十四日間、即ち二週間の休暇が取れることになつてゐる。君だつてこれを取つてゐるだらう？ ぢやこれを、本當に働く日から、君引いて見給へ。そ

してこの他にも、いや何々祭何々祭と、よく勘定して見ると、少くとも一年の内には十二日はある。だから、この計算を見れば分る通り君は一年中であつた八日しか働いてゐないことになる。君は、銀行に來てから、もう十年近くなるなあ。うんこの間にや、風邪も引いたことがあらうし、病氣になつたこともあるだらうし、何んとかいつて一年に七日か八日ぐらゐは休むだらうさうすると君は、まるで一日も働かないで、月給を貰つてゐたことになるぢやないか！ こんな割のいゝ商賣が、君、一體何處にあると思ふ？ それなのに君の上、月給を増してくれなどと願ひ出された義理かい！ 僕は、もう多くはいはぬが、大體君だつて、これ分つたらうぢやないか

哀れなトーマスは、スツカリ情氣かへつて、そこに直立したまゝ、頭取の言葉を聞いてゐた。

が、やがて叮嚀にお辭儀をすると、彼はホツとして外に出た。

「いやあ、お拂ひ箱にならなくつて、まだまだ仕合せ

美味！
芳醇！

宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

看護婦急派
の求めに應
じます

平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

上田外科醫院
平町南町
電話二一九番

平新川町十九

木村病院

電話一六四番
 産婦人科 院長 木村寅次郎
 内臟外科 醫學士 松永憲一
 整形外科 醫學士 萩原駿二
 藥局 東京藥學士 萩原駿二

お商用ニ
 タクシー電 五六九
 六三二
 ドライブニ
 イワキタクシー

貸切の!!

御用命はゼヒ
 電話三九五番へ
 芹澤自動車商會
 タクシー部
 貨物運輸部

度量衡、計量器、吸入
 用酸素、酸素吸入器
 關内藥局
 電話四〇番

初日大入滿員御禮

九月十八日ヨリ公開
 偉觀!!! 壯觀!!! 此の名番組
 (祝) ドン帳開き
 超特別大興行

新興帝キネ超特作現代劇
 明眸森静子入社第一傑出作品
 生きた涙の事實哀話(堀江六人斬)
 妻吉物語 十卷



山梅の花も開かず散りもせず
 堀江にさびし小夜時雨... 見よう...
 然して泣け地上不幸なる此の女の爲に?
 メトロ・ゴウルドウィン・メーヤー
 特別提供ジョージ・アサー氏演
 愉快な冒険大喜活劇
 俺れは水兵 八卷

東亞キネマ社超特別大時代劇
 市川橋谷 羅門光三郎 尾上菊太郎 原駒子他オ
 ールスター
 天下の副將軍 十二卷
 歡樂の殿堂
 皆様の... 有聲座

セメント 磐城セメント株式會社
 壁用材料
 コールタール 代理店 西村屋藥舖
 ペンキ塗料
 板ガラス 平町二丁目電三

日支逐ひに 戦端を開始す

▽……暴戻なる支那軍が

▽……わが満鐵線を破壊

北大營占領

(東京電話)十八日午後十時三十分奉天構内北大營西北側に於て暴戻なる支那軍が満鐵線を破壊し鐵道守備隊を襲撃した爲め吾が軍も之に應戦し奉天城の砲撃をなすと共に十九日午前零時三十分吾が軍も北大營を占領した

野田中尉が重傷

其他消息不明

奉天軍五六百名と吾が守備隊の虎石臺中隊と十八日午後十一時激戦を混え野田中尉は重傷を負ひ其他は消息不明

第二師團出動決定

關東廳下に非常警備

事態急變した爲め關東廳下に非常警備をなしたが支那軍は抵抗を止めず第二師團が出動する事に決定した

領事館火災を起す

今朝五時二十五分頃長春帝國領事館は突然火災を起し御眞影は幸くも第三旅團司令部へ奉還申上げた

奉天城内、我軍の

統制下に歸す

支那軍武装解除

今朝六時半に至り奉天城内は完全に我軍の統制下に歸し秩序を回復したが同時に支那軍を一人残らず武装解除した

本日午前十時

臨時閣議を召集

本日午前十時政府は首相官邸に臨時閣議を開き日支軍衝突事件に關し之が對策を若槻首相から各閣僚にはかる處あつたが結局南陸相から事態を擴大せしめざるやう本城關東軍司令官宛に訓電を發した

無免許で酒母使用

菓子やパン製造者

今のうちに許可願

平稅務署では最近管内に於ける多數の菓子製造業者及びパン製造業者間で盛に製品の品質向上を計る爲無免許にて酒母を使用して居るが元來酒母は多數の酒精醱酵菌から出來上つて居るものであるから使用する目的の如何に拘らず酒母醱及麴取締法と云ふ面倒な法規があつて許可を得なければならぬのを町内各業者は大部分知らずに無免許營業を行つて居るので

平稅務署では酒母を使用する菓子製造業者パン製造者の調査を開始し違反者をドシ／＼處分するとの事であるから知らずに無免許で居る向は早速届出るべきであると

さりとては知らずに

選挙の注意

各権者へ

平町役場では今十九日町内各権者に對し縣議選舉に關する注意を左の如發したる二十五日執行せらるるへき縣議員選舉は兼て告示の通り午前七時より午後六時まで平町會議事堂内元商業學校に於て投票せらるるべく有権者には豫め入場券を配付しあるを以て當日は此人場券を忘るゝことなく受付係に之を示し係員の捺印を受け名簿對照所に於て到着番號札と引換へ其番號札を投票用紙交付所に差出し投票用紙を受取り投票記載所に至り被選舉人一

人の氏名を記載し之を折り疊み投票管理者の前に在る投票函に投入するものとす從來稍もすれば混雜の爲め投票用紙を受取りず直に到着番號札に被選舉人の氏名を記入し若くは投票を投票函に投入せずして場外に出でんとするもの又は出口に心付かず入口に戻らんとするもの等ありて場内整理に支障あるの例なきにあらざるを以て能く標識掲示を見秩序を保ちて完全に選舉權を行使せられた

赤坂翁

老軀を提げ

子息の爲め壇上に切願
赤坂翁の戦況を聞くに選舉委員結束八方に奔走して一致協力事務長古川傳一氏を配の許に活躍中に地盤堅近代人をアツと言はせ、
『青年日本號』もどうやら無事にその使命を果した、實に我々の時代は征空オンパレードである

赤坂翁

老軀を提げ

子息の爲め壇上に切願

赤坂翁の戦況を聞くに選舉委員結束八方に奔走して一致協力事務長古川傳一氏を配の許に活躍中に地盤堅近代人をアツと言はせ、
『青年日本號』もどうやら無事にその使命を果した、實に我々の時代は征空オンパレードである

近代スポーツ

メカニズムへの興味を語るもの

空へ昇る

スポーツは秋のころのやうに地上から空へ昇る、空、空、コバルトの空、そして飛行機……それはおよそ秋のスポーツの主題にふさはしいもの
△▽
會津から空の曲藝師バラシュートガールが出現して

菊池寛の『有島愛華』上演

保護者會で

映畫を上映

平町各小學校の保護者會では小學兒童の教育參考資料として實寫映畫を上映すべく學校當局及び映畫會社と交渉中であつた處東京ヤマニ洋行と交渉が成り本日同行から『海豹島實寫』一巻、『猛獸實寫』『タイガ』八巻が着荷した爲本日正午より三回に渡つて三校兒童に觀覽せしめた

平町人事

出生

△四軒町一五 高山達氏五女仁子

△大町一 器械商吉田義雄(三四) 南町五七齋藤ハル(二七)

△大町一 器械商吉田義雄(三四) 南町五七齋藤ハル(二七)

△大町一 器械商吉田義雄(三四) 南町五七齋藤ハル(二七)

△大町一 器械商吉田義雄(三四) 南町五七齋藤ハル(二七)

△大町一 器械商吉田義雄(三四) 南町五七齋藤ハル(二七)

△大町一 器械商吉田義雄(三四) 南町五七齋藤ハル(二七)

△大町一 器械商吉田義雄(三四) 南町五七齋藤ハル(二七)

△大町一 器械商吉田義雄(三四) 南町五七齋藤ハル(二七)

△大町一 器械商吉田義雄(三四) 南町五七齋藤ハル(二七)

△大町一 器械商吉田義雄(三四) 南町五七齋藤ハル(二七)

△大町一 器械商吉田義雄(三四) 南町五七齋藤ハル(二七)

△大町一 器械商吉田義雄(三四) 南町五七齋藤ハル(二七)

△大町一 器械商吉田義雄(三四) 南町五七齋藤ハル(二七)

△大町一 器械商吉田義雄(三四) 南町五七齋藤ハル(二七)

△大町一 器械商吉田義雄(三四) 南町五七齋藤ハル(二七)

△大町一 器械商吉田義雄(三四) 南町五七齋藤ハル(二七)

△大町一 器械商吉田義雄(三四) 南町五七齋藤ハル(二七)

△大町一 器械商吉田義雄(三四) 南町五七齋藤ハル(二七)

△大町一 器械商吉田義雄(三四) 南町五七齋藤ハル(二七)

△大町一 器械商吉田義雄(三四) 南町五七齋藤ハル(二七)

△大町一 器械商吉田義雄(三四) 南町五七齋藤ハル(二七)

△大町一 器械商吉田義雄(三四) 南町五七齋藤ハル(二七)

△大町一 器械商吉田義雄(三四) 南町五七齋藤ハル(二七)

△大町一 器械商吉田義雄(三四) 南町五七齋藤ハル(二七)

耳鼻咽喉科専門 大和田醫院

平町南町 電一七〇

一冊の代金で 御希望通りな

五冊の雑誌が 自由に讀める

川崎文庫

電六三〇番 (申込次第規則書送呈)

あす、秋晴れの揚土臺に 亂れ飛ぶ百余機の壯觀

本社後援模型飛行競技大會 奏樂裡に華々しく開催

平町いづみや玩具店主催本社後援郡下第一回模型飛行機競技大會はこの地方における最初にして而も近代風潮の有意義な試みとして早くから各方面の人氣を煽つてゐたが愈々明日二十日午前八時半第一小學校

校庭に 開催される

と昨報の如くであるが本稿締切りまでに参加九十八名に達したので明日の揚土臺上は百余機の小飛行機が亂れ飛び大人も小供も觀衆の全部が空へ空への憧憬を具現する——競技は翼の長さ二尺以上あるものと以下のものとの二組に分ち一機二回まで飛翔せしめ得るものであるが豫め距離を測るものと滞空時間を測るものとに區別してゐるので各種各様の模型機が各種各様に飛翔する旋回宙返りをするのもあれば三町余の長距離を天翔けるものもある——参加者は午前八時いづみや玩具店前に整列し

音楽隊と共に會場に

乗り込むわけに競技はまづ會我會長の開辭川崎審査長の注意に次いで自慢の愛機は校庭の西方に設けられた滑走臺に並べられる——かくして大會は進められる、實にあすの揚土臺は之が觀衆で埋められるであらうと非常なる期待を以てみられる

警察官總出動に

不良連影を潜める

縣議戰の飛ばらりて

遊客は足止め

縣會議員選舉戰線は大いに動き各派各候補とも言論戰と共に今や潜航的猛運動を開始したのでこれが取締のため平警察署では署員總出動で署内はガラ空の状態であるが平常は少くとも七八

平町鎌田の 火防組員 辭職

區長との反感から

平町鎌田町火防組合では豫てより區長及區役員と事毎に意見相反して居た處本日突然同火防組合長小林初太郎氏外全員連名の上平署に總辭職の届出をなして來たが事情は矢張り區役員との不和の結果らしく種々噂されてゐるが同區青年分會長及び平署長が仲裁役となつて種々斡旋奔走してゐる

矢庭に襲ひかかり 短刀で右肺を突さす

犯人二名直ちに捕はる

昨夜二ツ矢山麓の血闘

被害者 絶命す

絶命した、急報に接し平署では非常召集を行ひ署員全部現場に急行し直ちに犯人逮捕の手配をなした

が現場に落ちてゐた兇器、手拭、草履等から即刻犯人の自宅を襲ひ前記鈴木方に

て兩名高飛せんとする所を取押へ本署へ檢舉目下嚴重

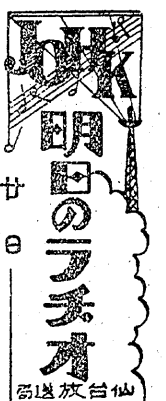
取調べ中であるが原因には

女性との關係もあるら

しく近頃頻々として起るお

祭り事件に地方民は戦々恟

々としてゐる



今晩も明日も北西の風晴れたり曇つたりのお天気です

今晩の部

後六、〇〇(子供の時間)「うたのおけいこ」(三)佐々木さぶる
後六、三〇 英語講座「中等科」第一講の三 高見穎治
後七、三〇 講演「中華民

明日の部

前九、一〇 榮養料理「ナラダ」榮養研究所
前九、三〇(子供の時間)行進曲「理想の愛人」其他「サウンドストロ」東京ラデオオーケストラ

前一〇、三〇 運動競技「インターカレッジ短艇競漕」
前一、五〇 運動競技「雨天順延」野球リーグ戦
後六、〇〇(子供の時間)「バスカルと夢」上原利一郎
後六、三〇 講演「磁石で電氣を起すまで」荒川文六
後七、三〇 放送映畫劇「映畫劇の夕」決戦河古原城「尾上榮五郎 浦波須磨子他大勢」
後八、二〇 映畫小唄「レビウウの踊り子」其他田谷力三
後八、四〇 ラデオコメデ「風船玉とバジャマと戀」川崎弘子其他

行衛を 捜索中隣家の

齊藤元吉長女スミ(三)と共に家出した事が判り百方探し廻つたが遂に姿を見せぬので本日平署へ捜索方を依頼して來たがチエは昨午前記者吉を婚養子として迎へながら日頃

都會の 活動女優を夢

みてゐたもので憂鬱な田園の生活に嫌氣がさし常に氣の合つてゐた隣家のスミと喋り合せ衣類や貯金を持つて新しき國を胸に描きながら家出したものであると

古河炭礦講演會

石城郡好間村古河炭礦では明日廿日が公休日であるので從業員の爲午後一時より同村小館俱樂部に於いて講演會を開催するが講師は白石玄海氏で軍縮と日米の關係及尼港慘劇の實話に就いて講演ある筈

梨品評會

出品五百點

即賣あすまで

既報郡農會の後援のもとに開催される梨の荷造品評會

映畫の國へ行つたのか

夢みる若い女同志

お嬢さんを置き去りに

手に手に取つてドロンゲーム

石城郡好間村大字上好間字田代三〇本間榮七長女チエ(二九)は昨十八日午後七時頃

小説 七五郎

(四十)

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

【載轉禁】



蝶蝶の宿 (1)
いつしか空は霧れかゝつて金色の笹縁をとつた雲の切目からをり／＼淡い月の姿が覗かれた。それでも宵の雨に冷やされた水蒸気が牛乳のやうに川面に流れて向ふ岸の春の灯をおし包んでゐた。散る花の名残が手套が欲しいほどの薄ら寒い晩だつた。

男の方は鼠メルトンの外套にくるまつて黒リボンのツフト帽を眉深かい本駱駝の襟巻を鼻の上までたくしあげてゐたので、どんな顔立ちやらちらりと見たゞけでよく分らなかつた。

只背の高い優形、のどつちかと云へば灰殻にちかい人柄だといふことは、穿いてゐた護謨の長靴の艶々しく光るの手にした洋杖が象牙握りの金の飾つきで縞黒壇らしい物であつたのを見ても大方それと讀めた。

その男にびつたりと寄り添つて手を握らないばかりの睦じさを路ゆく人に妬ませた連れの女は後から見るとずつと身長が低かつた。

黒のシルクボブリンに細かい織出模様のあるコートを着けて、錦紗地のニールンスカーフをかけてゐた、

ある最中に男を引張つてこの横濱くんだりをノソ／＼歩いてる氣が知れないわ。餘程うか／＼してゐるわよ。」

斯う思つて灯かげに薄れ行く二人の姿へふべつ目の目を投げて彼女はまた知らずにゐるのだなと心づく可笑しいやうな憐れなやうな氣がした。そしてそれが直ぐと腹立たしさを混えた一種の疑惑に變つてゐた。

「一体何者なんだらう。相手の男は……變ねえ。」

自問自答して見たが更に彼女には推量がつかなかつた。今自分の尋ねてゆく若主人

しばらく凝然となつてゐた男は勿論、誰れだかよく分らなかつたけれど、女の方は一二度見かけたことのある十文字家の都子夫人に紛れなかつた。

「随分暢氣な奥さんね。御店の方が執達吏騒ぎやら急病人やらで願手古舞をして

の源之助なら横濱にゐるけれど、無論さうでないことは背格好でもよく知れてゐる。外に……第三者の自分にはこうといふ心當りもない。

「屹度何かなんだよ。随分な女ね。不都合ね。」

他人事でないやうな忌はし

い思ひがやゝ興奮してゐた頭腦をいやが上にそ／＼立てた。彼女は制し切れなくなつて。

「ちよいと。若い衆さん。直るまでにはまだ時間があるでせう。あたし少しそこいらをぶらついて来るから此處に待つて、頂戴よ。ね。い／＼でしやう。」

斯う云ふと輪をこつ／＼打つてゐた運轉手が

「もう直ぐですがな。」

「好いわよ。ゆつくり行つて頂戴よ。」

急いで跡を追蒐けた。もうその時はもつれるやうに歩いて行く二人の影は電車のヘッドライトにちらりと映つたのを最後にして、巷の闇にあぶなく消えかゝつてゐた。

時計 眼鏡

トキワヤ
平一・電三三九

井 三
の
商品切手

八 番
三 八 四
平三電

子宮病血の道の方は左記の良薬をお用えになればラクに自宅で退治出来ます

子宮座宮子
BISHINGAN
美神丸
美神湯
服薬血の道薬

阿康薬舗
電話四四番

印刷物の御用命は總て
常磐毎日印刷株式會社
電話三六〇番

東北ヒヨケの元祖
敷島テント商店
防水布製
ヒヨケ・テント
カーテン・各種

勿驚破天荒廉賣
記念新坑着炭
正味拾貫八入 一俵金貳拾五錢
一俵より
配達します
水野石炭商店
平郵便局通り
電話二九九番

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 腸胃病
院醫科腸病性 村松
七〇一話電 町南平

融金替爲・債公・券債
店質井田多
町工大町平
番一九五話電